

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200033
事業所名	グループホーム宝南の家

#### 【重点項目への取組状況】

評価	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	重点項目①
○	中学生の社会福祉体験を受け入れ、その折には認知症の説明もしている。8月から月一回「認知症カフェ」開催の準備をしてきたが、2月26日に開催される。地域包括支援センターの後援や民生委員の尽力もあり、着々と準備が整っている。その場を認知症の啓蒙だけでなく、「独居高齢者の集いの場としたい」と管理者は語る。	重点項目②
評価	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	重点項目③
○	家族及び入居者、地域代表・民生委員・元老人会役員をメンバーとし、年6回の開催が確認された。毎回資料として2か月間の事故・ヒヤリハット・行楽・外出など細々と報告書が提出され、会議資料として供されている。また同報告書は全家族にも配布されている。昨年の目標達成計画で、継続的な地域との繋がりを掲げ、ゴミ当番を担当している。	重点項目④
評価	市町村との連携（外部評価項目：4）	重点項目⑤
○	行政との定期的な連携は築けていないが、名古屋市認知症相談支援センター主催の「認知症になんでも大丈夫フェア」に参画したり、社会福祉体験の中学生に認知症の講習をしたり、2月には8月から温めてきた『認知症カフェ』開催が決まっている。	評価
○	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
○	家族会はないが、ホーム便りは毎月発行している。各入居者はお小遣いを管理しており、おやつや日用品など必要に応じて職員と買い物に出かけている。退院後ガーゼ交換のため訪問看護利用の要望があり、仲介した。必要な受診には職員も同行している。	評価
○	その他軽減措置要件	評価
○	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価
○	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価
○	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
○	総合評価	評価

## 1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
  - ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
  - ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
  - ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

## 2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

### 【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	○	○	○	○	○	◎	○			